

投資環境の見通し（2026年6月）

国内株式

もみ合い

| |
|-------------------------|
| 株価上昇要因 |
| 中東紛争の早期終結 堅調な景気と企業業績 |
| 株価下落要因 |
| 中東紛争の長期化 企業業績の悪化 |



1か月の予想レンジ 日経平均株価：58,000円～71,000円

国内株式市場は、米国とイランの紛争終結に向けた交渉の行方を見極めながら、もみ合う展開が予想されます。中東情勢が安定に向かえば、原油高などを嫌気して売られた銘柄への買い戻しの動きが優勢となると予想されます。一方、高い業績成長見通しが好感され大きく上昇してきたAI（人工知能）関連銘柄などには、一時的な利益確定売りが出る可能性があり、注意が必要と考えられます。

国内金利

もみ合い

| |
|------------------------------|
| 金利上昇要因 (債券価格低下要因) |
| 国内インフレ圧力の高まり 日銀の追加利上げ |
| 金利低下要因 (債券価格上昇要因) |
| 世界経済の減速 日本経済の悪化 |



1か月の予想レンジ 日本10年国債利回り：2.4%～2.9%

国内長期金利は、中東情勢や金融政策の行方をにらみながら、もみ合う展開が予想されます。米国とイランの紛争終結に向けた交渉が進展し、中東情勢に安定が見られれば、過度なインフレ懸念が和らぎ、金利低下が促されると考えられます。一方、日銀が金融政策決定会合で追加利上げに対し、さらに積極的な姿勢を示せば、金利上昇への圧力となります。

米ドル/円

もみ合い

| |
|-------------------------------|
| 米ドル上昇要因 (円安要因) |
| 米景気好調維持 原油高止まり・貿易収支悪化 |
| 米ドル下落要因 (円高要因) |
| 為替介入（円買い・ドル売り） 原油価格の下落・安定化 |



1か月の予想レンジ 米ドル/円：154円～162円

ドル円は、原油高による日本の貿易赤字拡大やデジタル赤字などを背景に、構造的な円売り圧力がかかりやすい状況となっているものの、日米金利差縮小の流れや根強い為替介入への警戒感から、一段の上値も抑えられやすく、もみ合う展開が予想されます。

※ 上記矢印は相場の方向性を示しています。

出所：QUICKのデータをもとに中銀アセットマネジメント作成

【本資料のご利用にあたっての注意事項等】

■当資料は、投資環境に関する情報提供のみを目的として、中銀アセットマネジメント株式会社（以下、「当社」という。）が作成したものであり、特定の有価証券への投資を勧誘・推奨するものではありません。また、当社が設定・運用する各ファンドの投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。■当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。■当資料に掲載しているグラフ、データ等は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。■当資料に示す意見等は作成日現在のものであり、将来の市場環境の変動または運用成果を保証するものではなく、将来予告なしに変更する場合があります。■当社は当資料に含まれる情報から生じるいかなる責務（直接的、間接的を問わず）を負うものではありません。■当資料に記載されているベンチマークインデックスの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。